

事業活動にともなう環境配慮

CO₂ 排出量の削減と CO₂ 吸収の取り組み

地球温暖化の防止

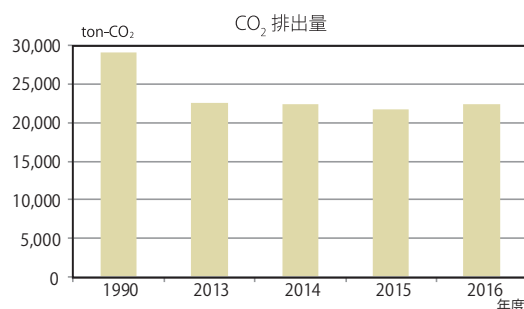
地球温暖化防止の取り組み（CO₂ 排出量削減）

カワイグループでは地球温暖化防止を環境経営の重点項目と位置づけ、工場やオフィスのエネルギー使用によるCO₂の排出や物流によるCO₂の排出の削減に取り組んでいます。

工場の統廃合や海外進出に伴い、生産系事業所のCO₂排出量は京都議定書の基準年である1990年度に比べて大幅に減少して推移しています。2016年度は1990年に比較すると44%の削減となり、京都議定書の日本の目標値6%削減に対して大幅な削減を達成しています。なお、1990年当時の支社・営業所・音楽教室のCO₂排出量の推定値を含めた比較では、2016年度は1990年度に比較して、23%の削減と判断しております。

省エネ法（「エネルギー使用の合理化等に関する法律」）は、一定以上のエネルギーを使用している会社はエネルギー使用量の実績や中長期の省エネ計画を届け出なければならないことを規定しています。カワイグループの工場ではピアノ製造を行っている竜洋工場と鋳物製造の株式会社カワイキャスティングの2工場が第二種エネルギー管理指定工場に指定されています。自主的にCO₂削減計画を策定し、CO₂削減に取り組んでいます。

オフィスにおいては例年どおり夏期には「ノーネクタイ」「ノー上着」活動とともに、冷房設定温度を上げる「クールビズ」運動を、冬期には暖房設定温度を20℃以下に保つ「ウォームビズ」運動を展開しています。



上海の窓辺には緑がいっぱい

上海カワイ電子有限公司では、環境美化の一環として女性社員が鉢植えを自主的に持ち寄って、毎日手入れをしてくれます。無機質な事務所に安らぎが与えられます。

さらに、小さな取り組みでも地球全体で取り組んでCO₂吸収を推進していかなければなりません。



インドネシアの「カワイの森」

2007年からインドネシアにおいて、CO₂の吸収源の確保、樹木が伐採された土地に森林を再生すること、将来の木材資源の確保を目指してカワイグループ従業員の寄付による「カワイの森」植林活動を行っております。2012年度までの第1期に250ha、植林木数30万本、生育本数24万本の規模の植林を達成しました。2013年から始まった第2期では、200haに22万本を植え、ほとんどが元気に成長しています。現在までの植林で年間7,000トン程度のCO₂吸収効果があると判断しており、これはカワイグループ全体の排出量の25%程度をまかなっていることになります。今後も継続してまいります。



Pankalan Karawan (2016年植林地)



Cibatu Purwakarta (2016年植林地)



主な製品の環境負荷の評価と節電活動

製品の環境負荷 (LCA)

製品をつくるための資源の採取から部品、製品を作る過程で排出されるCO₂及び製品を使用し、廃棄されるまでに排出されるCO₂の量をカワイの主な製品のグランドピアノ(GX-3)について行なった結果は次のとおりです。

ピアノは、一般の電化製品、自動車と異なり製品の使用時に排出されるCO₂はありません。また、製品寿命は一般的に数十年と長く、製造までのCO₂排出量が製品寿命の総CO₂排出量と考えることが出来ます。

LCA：Life Cycle Assessmentの略。製品の原材料の調達から製造、輸送、使用、廃棄までのライフサイクル全体を通して、環境に及ぼす各種の環境負荷を定量的に評価する手法。

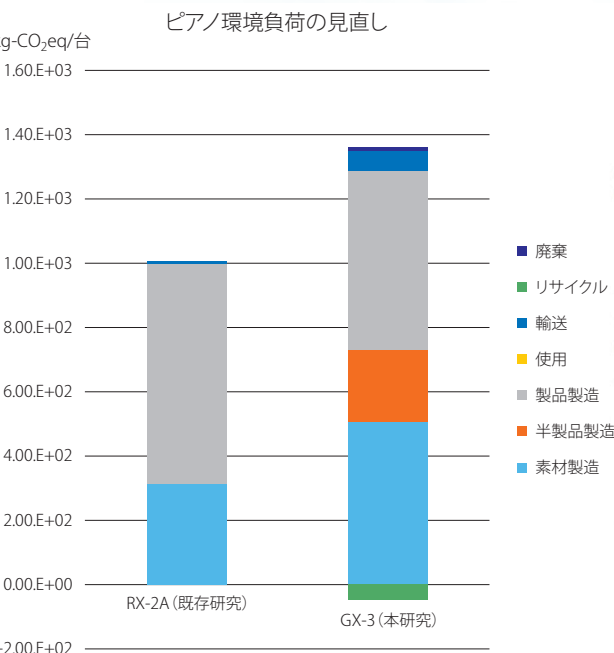
資料提供：渡邊杜人、伊坪徳宏：森林保全を考慮したピアノの環境影響評価、第12回日本LCA学会研究発表会、つくば、2017年3月1日～3日

夏の節電活動

カワイグループでは、夏の期間中に節電活動を実施しております。

5月連休からクールビズに取り組み、エアコンの使用28℃設定で節電計画を実施しております。また、寒い時期にはウォームビズも実施しております。東北大地震時は目標を前年比15%削減として取り組み、カワイグループ全体の電力使用量を11%削減しました。現在も維持継続のため啓蒙活動を実施しています。

毎年、社内向け、お客様向けの省エネ活動のポスターを作成し、生産部門から営業部門ともに広く呼び掛け、お客様にもご協力をいただいております。2017年度も継続して節電活動に取り組んでまいります。



【2016年：お客様向節電ポスター・社内向節電ポスター】

節電活動：竜洋工場のLED照明、フロン排出抑制法対応

ピアノの主力生産工場の竜洋工場では水銀灯使用全廃に向け継続してLED照明に変更をしております。竜洋工場は「森の中の緑の工房」として1980年の建設時から環境に配慮してきた工場です。LED照明に更新することによって照度がアップし、照明の設置台数を減らすことができ、電力使用量の削減、メンテナンスの工数削減を図っております。また、通行の少ない通路・階段など人感センサー付きLED照明にして節電は元より、安全に十分配慮したレイアウトを心掛けております。さらに、フロン排出抑制のため、空調設備適正点検実施とともに、代替フロン設備への更新も進め、節電だけでなく環境への配慮も合わせて検討しています。



LED照明への変更



代替フロン設備への更新